



## 織物のまち・八王子

八王子の産業を織りなしたもの

### 職員ならおさえておきたい。織物キーワード3

#### 1 桑都

八王子の美称。

西行法師が詠んだという「浅川を渡れば富士の影清く 桑の都に青嵐吹く」に由来します。

#### 2 絹の道（シルクロード）

江戸から明治にかけて、開港とともに日本の主要な輸出品となった生糸を運んだ「浜街道」のこと。山梨などの養蚕地域から集まった生糸は、八王子の中心地から鑓水を経由して横浜まで運ばれました。まさに日本を支えたライフライン。これが、今の国道16号や横浜線につながっています。

#### 3 ガチャ万

「ガチャン」と織れば「万」と儲かるといわれた、八王子織物の戦後の好景気のこと。明治には、西陣・桐生について全国3位の織物産地になった八王子。昭和初期には、工業生産額の95%以上を織物業が占めましたが、八王子空襲により工場数が戦前の2割まで激減。「ガチャ万」の時代を経て復活し、昭和30年代にはウール着物でヒットを飛ばし、ネクタイ生産量では全国の6割を誇るほどに発展していきました。

### 「のこぎり屋根」のヒ・ミ・ツ

のこぎりのような、ギザギザした三角屋根の建物を見かけたことはありますか？

これは、安定した「採光」を目的とした、織物工場独特の建物です。

ポイントは、屋根に垂直に設けられた窓が「北向き」であること。これによって、大切な織物の日焼けを防いだり、色や織・柄を正確に確かめることができます。市内に数件残る貴重なのこぎり屋根は、大きな天井が魅力的で、カフェなど次の時代に転用されています。



### 伝説のシンボルタワー。その正体とは？

かつてまちの玄関であるJR八王子駅北口のロータリーに鎮座していた、「織物の八王子」のモニュメントを知っていますか？昭和35年に建設され、平成7年まで八王子の顔となっていました。

実はこれ、機織りにちなんで「糸巻」をイメージしたものなんです。

なんと令和になって、延伸したマルベリーブリッジの上にも、2本の「糸巻」型のオブジェが誕生。

さて、新たなシンボルタワーとなれるでしょうか！？



### 八王子一番は、やっぱりネクタイ。

クールビズや輸入品に押され、生産量が少なくなった国産シルクネクタイ。しかし八王子には、世界に誇るネクタイ技術があります。

たとえば、市内のネクタイファクトリーが42年間で手掛けたネクタイ柄は、なんと28,000柄。通常のネクタイ織機よりも経糸が100本多く、2〜3割高密度にしっかりと織られています。

八王子市のふるさと納税でも、高品質なシルクネクタイは「一度締めたら他のネクタイができなくなる」と、一番人気の返礼品となっています。



### 「織物のまち」から「ものづくりのまち」へ

八王子の経済を支えてきた織物業は、時代の流れに伴い下火になっていきますが、空いてしまった織物工場の建屋や、織機のメンテナンスで培った人々の技術力のおかげで、次の八王子の産業を支える電気や精密機械工業の立地が進みました。「織物のまち」があったからこそ、「ものづくりのまち」へと進化を遂げることができたのです。

### 織物だけじゃない、織物のまち。

織物のまちは、染め物のまちでもあります。

江戸から200年続く藍染め職人、瑞宝単光章を受賞した江戸小紋の職人、大臣賞を受賞した手差し型染の職人、有名デザイナーとコラボするシルクスクリンプリントの職人。日本が誇る技術を持つ染職人たちが、八王子で活躍しています。

どの工場も浅川沿いにあるのは、葛飾など下町から水を求め、川に恵まれた八王子に移ってきたから。八王子の伝統工芸「多摩織」とともに、その匠の技術が次の代へと着実に受け継がれています。



八王子をもっと知りたくなったら、「八王子の歴史文化 百年の計」をめくってみよう。



## 本庁舎“八”不思議

庁舎を知れば、先人の想いが見えてくる

私たちが日々仕事をしている本庁舎は、昭和58年10月に誕生したものです。当時その豪華さから、「西の倉敷、東の八王子」と揶揄され、「税金の無駄づかいではないか?」との批判もあったそうです。

しかし、八王子のシンボルにふさわしいこの近代的な庁舎をつくった背景には、

**「職員のためだけの施設ではなく、市民が訪れるふれあいの場となしてほしい」**  
**「市民の幸せとそれを支える職員の幸せのために、100年続く庁舎にしたい」**

という、当時の職員の熱い想いがあったのです。

所々に八王子らしい遊び心も見え隠れする、私たちの庁舎にまつわる不思議を説明します。

### 不思議 ① モザイク画の謎

庁舎正面側の壁面に、とある模様が描かれていることを知っていますか? 実はこの模様、市内を流れる「川」と「山地」を正確に表現したもの。タイルの色ではなく向きを逆にすることで、光の印影で模様をつくるというこだわりと遊び心が詰まっています。

ちなみに、守衛室側の壁には「山地」と「丘陵」が描かれています。こちらも一度チェックしてみてください。



### 不思議 ② 地下階の「下」には何がある?

食堂や売店などがある地下1階の下にあるもの…。それは、3,000tの水をため込むことが可能な「巨大貯水槽」です。槽には浅川から引き込まれた水や、敷地や建物に降った雨などが貯められており、庁舎内のトイレの水洗や、食堂の前の池や滝の水、スプリンクラーなどの消火栓設備に利用されています。

### 不思議 ③ あのレリーフに隠された秘密

1階ロビーには、八王子車人形や千人同心など、八王子を象徴する歴史や文化、産業が描かれた「郷土賛画」の巨大レリーフが飾られています。その大きさ、縦3.5メートル×横12メートル! 作者は、市内在住の日本画家・橋本豊治氏。

ロビーでもひととき存在感を放つこのレリーフですが、なんと描かれている登場人物にはモデルが実在していたんです。その正体は、当時の市議会議長や建設担当の職員、秘書課の職員。職員の似顔絵を写生し、それをもとに作られたとか。「市民に親しんでもらいたい」という想いで、市民が多く訪れる市民ロビーに掲げられたこだわりの逸品です。



市章マークも  
見つかるかな?!

背景・八王子市街地

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| ① 北条氏照公と滝山城のさくら            | ⑤ 八王子千人同心   |
| ② 織物のまちの象徴・糸車と市の木イチョウ模様の織物 | ⑥ 農業の象徴・稲   |
| ③ 八王子の獅子舞と八王子市徽章           | ⑦ 市の花ヤマユリ   |
| ④ 八王子車人形「二人三番叟」            | ⑧ 高尾山と山伏・天狗 |

#### ごぼれ話：もうひとつのレリーフ

あまり知られていませんが、由木中央市民センターにもちょっと小さなレリーフがあるんです。作者の橋本氏が由木の出身という縁から、由木の郷土がモチーフになっています。こちらも、ぜひ一度見に行ってみてください。



## 不思議 ④ 9階はどこへ消えた？

「9階？庁舎案内図をみると8階までしかないけれど…」

昔と今では、庁舎の階数表示が違っているんです。ほんの10年前までは、食堂や売店などがある今の地下1階が「1階」で、庁舎正面玄関のフロアは「2階」とされていました。その後、市民にとって違和感が少ない、正面玄関を1階とする現在の表示に変更されました。たまたま、昔の記憶をたどって「\*\*課に行きたいのだけど…確か、昔は1階にあったような…」と来庁される高齢者の方もいらっしゃいます。このエピソードを知っていると、市民サービスの向上につながるかもしれません。



## 不思議 ⑤ 庁舎東側 T字状の塔の正体

その正体は、ズバリ排気筒。当時はゴミを1日2tまで焼却できる焼却炉室がありました。その排熱を給湯や冷暖房の補助として有効活用するなど、機能的にエネルギーを節約する「頭が良く、やさしくて、力持ち」な庁舎でした。この焼却炉は、環境負荷低減のため、現在は稼働していませんが、当時は最先端のエコな市役所だったことがうかがわれますね。



## 不思議 ⑥ 定礎板のタイムカプセル

正面玄関右側の壁にある「定礎」と書かれたプレート。その裏側には、特注の銅製の「定礎箱」が保管されています。中には、当時の紙幣・硬貨、決算認定資料、予算書、組織図、庁舎建設の概要、パンフレット、広報紙などが入っているそう。他にも、新庁舎の建設に関わった職員の集合写真も大切に収められているとか。

まさに新庁舎誕生の貴重な歴史が詰まったタイムカプセル！



## 不思議 ⑦ アメダス観測所がなぜここに？

市役所の東の端に、気象庁の「アメダス観測所」があるのを知っていますか？実はこれ、庁舎完成と同時に開設された「八王子市天気相談所」の名残なんです。

この「天気相談所」、教育の一環として第四中学校で長い間行われた八王子の気象観測業務を、市が防災面での活用を図るため引き継いだもの。観測のほか、「今日は洗濯物を干しても大丈夫？」といった市民からの問い合わせに答えたり、職員の声による天気予報テレホンサービスなども幅広く行っていました。機械観測への移行に伴い、市民に惜しまれつつ、平成22年3月に26年間の業務に幕を閉じました。

テレビの天気予報で、八王子の天気が出てくるワケは、この辺にあるのかも！？



浅川沿いにある気象庁アメダス観測所

## 不思議 ⑧ 幻の談話コーナー

かつて1階ロビーには、市民のための談話スペースがありました。市民にとって市役所が身近な場所になってほしい、との想いで作られ、当時は市民の憩いの場になっていました。

スペースの都合上、今は埋められていますが、八王子の特産品などを並べる陳列棚もあり、床暖房まで用意された快適な空間だったそうです。

他にも、食堂から見える滝と池は「緑とやすらぎ」を演出するなど、庁舎の外では自然、中では郷土を市民に伝える構造になっています。



みなさんはいくつ知っていましたか？

私たちが働く庁舎には、  
未来に語り継いでいきたい  
魅力がたくさん詰まっています。  
もし誰かに庁舎のことを聞かれたとき、  
胸を張って答えてくださいね。



あなたに挑戦!

載せきれなかった  
知ってほしいトリビアも大集合

# はちおうじクイズ32

答えは職員ポータルに!



01

「八王子」という地名の由来は?

02

毎年9月に子安神社で行われる、子どもが主役の相撲とは何?

03

八王子の「市の木」「市の花」「市の鳥」は?

04

八王子で一番高い山の名前は?

05

市役所脇を流れる北浅川で発見され、化石のレプリカがこども科学館に展示されている、約230万年前の生き物は?

06

「実践刀」と呼ばれ戦国時代から使われてきた、折れず、曲がらない八王子の郷土刀と言えは何?

07

八王子市歌の作詞家・作曲家は誰?

08

八王子ラーメンの3つの特徴は何?

09

八王子駅正面にあるマルベリーブリッジのシンボル塔が表現しているものとは?

10

ところで、「マルベリー」の意味は?

11

この市公認キャラクターの名前とその役割は何?



12

泉町の相即寺にはランドセルをしょったお地蔵さんがいる。このお地蔵さんはなぜランドセルをしょっているのか?

13

八王子市の姉妹都市(国内)・友好都市(海外)をすべて挙げよ。

14

昭和39年八王子で行われた東京オリンピックの競技は何? またその名残と言えはどこの何?

15

高尾地区に多い苗字と言えは?

16

八王子城の発掘で見つかった「イタリアとの関係を示す品物」とは?

17

「江戸東京野菜」として認定されている八王子発の野菜は何?

18

浅川町の初沢と落合の山稜にある巨大な地下壕は、何のために作られたものか?

19

戦国時代にさかのぼることができる八王子の炭焼き。恩方地区で作られている炭の名称は何炭?

20

昭和初期、八王子には競馬場が存在していた。その跡地に現在ある、市の施設とは?

21

明治22年市町村制が施行される前、八王子町はどの府・県の一部だったか?

22

追分町から高尾駅入り口まで約4kmにわたり甲州街道の両側に植えられている銀杏並木の本数はおおよそ何本? 植えられた理由は何?

23

万葉集には、多摩の地から九州の防人へ赴く夫を心配し妻が詠んだ歌がある。空欄に入る地名は? 「赤駒を山野に放し 捕りかにて多摩の口口徒歩ゆかやらん」

24

大正6年に八王子市となってから、今の八王子市となるまでの町村合併の経緯を述べよ。

25

八王子は七福神巡りならぬ、八福神巡りが有名。さて、7人の神様のほかに加わった神様は誰?

26

式分方町と上壱分方町の町名の由来は?

27

元八王子地区では6月23日に、小豆を入れた赤いご飯を食べる習慣がある。この習慣が始まったわけは?

28

高尾山のケーブルカーは日本一の急勾配で有名。ではその最大勾配は何度?

29

「TAKAO」というブランド名のトレッキングシューズを作った世界的メーカーと言えは?

30

八王子まつりで曳かれる山車は全部で19台あるが、作られた時代によってそのスタイルは大きく3つに分かれる。それぞれの特徴とは?

31

甘里町にある森林総合研究所 多摩森林科学園では、桜の遺伝子保存のためにサクラ保存林がある。保存されている桜の系統数はおおよそいくつ?

32

火星と木星の間にある小惑星「Hachioji」の直径は? 太陽を一巡りするのにかかる日数は?

あなたの正解はいくつ?

0～8問: 残念!

9～16問: まだまだ

17～24問: なかなか

25～31問: すごい!

全問正解: さすがに引く...

## 市民や上司・同僚との「忘れられないエピソード」

ほのぼのする話、じんわりくる話、背筋が伸びる話…

市役所では、毎日ドラマが生まれています。

私たち職員の心に秘められた、忘れられないエピソードの数々。

これから職員としてあるいていく「みち」のなかにも、  
素敵な出会いが待っているかもしれません。



### 浅川での救助劇

20年くらい前ですが…

市役所裏の浅川で身動きの取れなくなった老犬を川から救助し、無事に飼い主に戻せたとき。(川から引き上げるのは私がやりましたが、本当は犬が苦手でしたので、他の職員が駆けつけてくれ、濡れた犬を拭いて乾かしてくれました。)

(40代 技術系)



### 「ルール」と「困りごと」との狭間で

夜間は嘱託員だけで管理する施設に勤務していたときの話です。

私は、業務繁忙につき時間外勤務をしておりました。17時までしか受け付けない申請を、これから窓口を訪れて行きたい旨の電話を嘱託員が受けました。通常であれば断る嘱託員も、たまたま私がいることから判断を仰いできました。

私がいることでその処理は可能であったことから、電話を代わり「お待ちしております」と受けたところ、程なくして申請に来られ、無事に手続きができ、大変喜ばれて帰っていかれました。

その後しばらくして、その方が私の上司に接する機会があり、「あなたの部下には大変優秀な職員がおられますね」と、その上司が褒められたそうです。

法令に反するわけではないものの、「公平」の視点に立てばルール違反です。その辺の塩梅が難しいところですが、喜ばれたことだけは忘れられません。

(50代 事務系)

### 相手に寄り添い、ベストを尽くすこと

車イスで様々なクレームを言いに来られる市民の方がいて、しばしば強い口調で大声を出されていた。何度も話をうかがい、アドバイスし、心あたりの関係者に支援を依頼するなどしたところ、最終的に希望通りの結果となった。

後日窓口に来られたので、またクレームかと思われたが、お礼を言いわざわざ来庁したという。不自由な腕で、やっとのことで車イスを操作しながら来てくれたのである。感動してしまい、何もかも報われた気がした。

(50代 事務系)

### 心に残る上司のひとこと

リスクはあるものの、得られる成果の方が大きいと考え、他官庁に攻めの要望を行い大きな成果を得ることができたが、一部分で処理を誤り、上司に迷惑をかけた。しかしながら、上司は叱責や反省を促す態度をまったく見せず、逆に課員全員の前で「見習うよう」褒められた。

(30代 事務系)

### 小学生に教えられた「大切なこと」

市の水路に白鷺の死骸が落ちていたと通報があり、生き物の死骸のためその日のうちに回収しに行ったところ、地元の小学生が落ちている場所を教えてくれ、市民とともに問題解決を図る大切さを実感したこと。

(30代 技術系)

### 雪かきでのあたたかい思い出

平成26年の大雪の際、道路の雪かきを行っていたところ、通りかかる何人も市民からあたたかい言葉をかけられた。

役所の中では気づかなかった、自分の後ろに道ができる気持ちよさ、その道を歩いて喜ぶ人がいるやりがいを感じた。

同じことはもう腰痛でできないかもしれないが。 (30代 事務系)



### 市民から学んだ仕事への姿勢

地域の方に、少子高齢化から起きる財源不足や人材不足の緩和に向け、住民同士の助け合い活動を充実してほしいという話をしたとき、市民の方から「自分たちは、お世話になった地域に恩返しがしたくて、出来る範囲でできることをしていきたいだけ。制度のために動いているのではない」と言われたこと。法律や制度をフレームとして地域にそのまま被せようと考えていた自分が恥ずかしくなり、地域の気持ちを最大限応援する制度に再構築した。

(40代 事務系)

## 市長からともに働くあなたへ

---

最後まで読んでくれた職員のみなさん。

この「みち BOOK」から  
何か気づきを得たなら

明日から  
あなたの「みち」との向き合い方を  
ほんの少しでも  
変えてみてください。

私は、今期の市長就任時、職員のみなさんへ  
次の3つのことをお願いしました。

1. 八王子の魅力をよく知り、それを最大限活かすこと。
2. 積極的に外に出て行き、様々な人々と交流すること。
3. 市民のみなさんへの情報発信を、さらに積極的に行うこと。

この「みち BOOK」には  
そのためのヒントがたくさん詰まっています。

私たちのあるくみちはそれぞれ違っても  
「あなたのみちを、あるけるまち。」という  
めざすいただきは、ひとつです。

ともに進んでいきましょう。

八王子市長 石森孝志